

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	人間福祉研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 高い実践能力や実証研究能力を涵養するという教育目的を達成するために具体的な教育目標や方針を設定する。	→達成可能な目標や方針について関連するすべての広報媒体での公表。	C	C	B	B	/
2. 2013年度までに修士号と博士号の学位授与の方針および過程を明確化する。	→学位授与に至る方針および経過に関するロードマップの作成、指導体制の明示。	C	B	A	A	/
3. 教育目標、方針、課程および学位授与方針に関して、大学院関連のすべての広報媒体で公表する。	→大学ホームページ、大学院案内などすべての広報媒体における公表。	B	B	B	B	/
4. 教職員、大学院生により教育目標、方針、課程および学位授与方針の達成状況をアンケート調査により評価する。	→教職員、大学院生に対するアンケート調査の報告書の作成。	-	C	C	C	/
					☆	

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	高い実践能力や実証研究能力を涵養するという教育目的を達成するために具体的な教育目標や方針については、大学院諸問題検討委員会を中心に何度も検討してきた。
目標2	修士学位および博士学位の学位授与の方針および過程については、大学院研究科のホームページや研究科の授業科目履修心得で明確にしている。特に、履修心得には、修士学位取得プロセスおよび博士学位取得プロセスを詳細に示している。
目標3	研究科の教育目標、方針、課程および学位授与方針については、受験生に対しては、大学院研究科のホームページ、大学院案内、入試要項等で公表している。
目標4	大学院諸問題検討委員会等でこれまで検討してはいるものの、まだ具体的には実施していない。2011年度から2012度にかけて、教育目標、方針、課程、学位授与方針、さらにカリキュラムを見直すなど、大学院入試や教育内容の部分について検討・見直してきたために、結果の評価についてはまだ十分に組み入れる体制にはない。
備考	